

入場無料



いなりっこ

子ども版 面神楽

三浦市指定重要無形民俗文化財

平成22年10月3日（日）

13時開演 16時30分終演

三浦市民ホール(うらり2階)

主催:三浦いなりっこ保存会
共催:三浦市教育委員会
後援:海南神社面神楽保存神楽師会

「いなりっこ」とは、農村の豊作祈願や漁村の大漁祈願をする稲荷信仰の稲荷講がなまった呼び名と言われてます。昔は初午の頃になると三崎の各地域で舞台を立てて子ども達を中心となって太鼓を叩いたり面をつけて踊りを踊っていたそうです。

現在では三浦いなりっこ保存会が、保存、継承、指導に努めています。

地域社会の生活から生まれた素朴な郷土芸能、三浦三崎海南神社の「面神楽」（面をかぶり無言で演じる神楽）その＜子ども版＞ともいえる「いなりっこ」今年も、約20名の子ども達が1カ月半の練習の成果を発表します。

演目（予定）

- ・ 国がため

最初に演じられる神楽で、この踊りが行われないと次の演目に移ることができない。五穀豊穰と国家安康を祈願する舞。

- ・ 玉取り

お姫様の持っていた玉を若い武士が悪者たちから取り返す物語。

- ・ 種まき

畑を荒らしたり人を化かす狐を里人たちが罠を仕掛けて捕まえる物語。

- ・ 恵比寿の舞

大漁祈願の舞。

- ・ 湯立

竈の神・荒神様が里人に悪さをする邪神・山の神を退治する物語。

- ・ 天狐の舞

「いなりっこ」で必ず演じられる狐の舞。

- ・ 茶番劇

面をかぶらずセリフのある演目。